

保険・共済事業の先進

企業の新たな収益事業の柱に

（秦の宰相・李斯）は「泰山は土壤を譲らず、故に其の高きを成す。大海は細流を挾ばず、故に其の深きを成す。名君は人を厭わず、故に其の大国を成す」と言っている。毎日毎日、小さな土くれが泰山に集まってき

（代表取締役社長・林健太郎氏は、保険・共済事業の設

立及び運営コンサルティングを30年間にわたって実施。約150の共済会の設立及び運営に携わってきた経験を活かして、保険・共済というリスクソリューションを、企業の防衛的な手法としてではなく、積極的なマーケティング手法として捉えた先進派である。さらにそれが企業の新たな収益事業の柱となるべく研鑽を重ね、独自の保険・共済事業への参入のコンサルティングを確立した。大手保険会社と違い、少人数でも的確にニーズを捉え、保険業務に精通したコンサルタントでキメ細かくオールマイティーに対応できるのが何よりの強みだ。最適なソリューションを提供できるとあって関係各先からの信頼も厚い。まさに「泰山が土壤を譲らぬ」ように小さなニーズにも応え、「大海が細流を挾ばぬ」ように共済の仕組みの構築に精進し、「名君が人を厭わぬ」ように人と優しく接してきた。そして着実に信用を培ってきた。

文京区本郷1・33・8